

# 地本業務ニュース

## JR 東海 労・静岡 地方本部

NO.14 2016年5月4日 発行者：JR東海 静岡地方本部 山本繁明

### 申5号「東海道線函南～三島間の線路陥没に関する 申し入れ」について業務委員会を開催！！

静岡地本は4月21日、函南～三島間の線路陥没に関する申し入れ「申5号」について業務委員会を開催しました。会社の回答と議論は以下の通りです。

1. 事象の詳細を明らかにすること。

【回答】12時33分頃、三島保線支区より総突き固め作業を終了し、出入口まで移動していた軌道工事管理者から、函南～三島間上り線116k727m付近の軌間内の枕木間がくぼんでいるとの連絡を受けた。施設指令は12時36分、輸送指令に函南～三島間上り線の列車抑止要請を行った。その後、くぼみ部に碎石を補充するとともに、軌道整備を行い、13時42分に列車抑止を解除した。運転再開後段階的に速度向上し、軌道状態が安定していることを確認の上、14時40分に徐行を解除した。

2. 線路が陥没した原因を明らかにすること。

【回答】原因の究明に向けて調査を尽くしたが、詳細な原因は不明である。

3. 再発防止対策を明らかにすること。

【回答】今後、当該箇所一帯を要注意箇所に指定し、定期的を実施している線路巡回時に、重点的に道床状態を確認する。

組合：その後異常は見つかっていないか？

会社：見つかっていない。

組合：他線区では異常なかったのか？

会社：わからない。

組合：前の事象と比べてどうか？

会社：陥没は小さい。

組合：沈んでいたのか？

会社：くぼんでいた。

組合：目視で見えたのか？

会社：そうである。

組合：運転に支障がないものが他にも結構あるのではないのか？

会社：小さいものでも迅速に列車を止めることができた。

組合：原因がわからないとはどういうことか？

会社：専門家が見ても難しい。

組合：落ちたのではなく掘れたのではないか？

会社：蓋然性が低いものは想定していない。

組合：広範囲に調査したのか？

会社：当該箇所はよく調べた。

組合：点検レベルを上げたということはないのか？

会社：ない。

組合：東海道線の地盤データはないのか？

会社：土地の形状を踏まえ、バラストを外してしっかり点検した。

組合：今後も起こりうるという認識か？

会社：全くないとは言えない。

組合：前日から工事をしていたのか？その時は異常なかったのか？

会社：どの時点からくぼんでいたのかはわからない。

組合：点検は毎日しているのか？

会社：定期的に行っている。

組合：今後同様な事象が発生しないように対策をすること。

会社：勿論である。

以上